

招 集 期 日	平成 2 9 年 9 月 2 1 日 (木)		会議の場所	教育委員室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 4 時 3 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 1 5 時 4 5 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	柿 沼 拓 弥 委 員	出 席	
古市明教育長職務代理者	出 席	高 瀬 賢 一 委 員	出 席	
春 山 教 子 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	橋本教育総務課長	細村学校教育課長
	小島学校給食センター所長	岡田生涯学習課長	山木スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開会	教育長	9 月定例教育委員会を開会		
日程第1 前回会議録の承認	教育長	教育委員会の会議は公開が原則であるが、人事に関する事件、その他の事件については、出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した時は、公開しないことができる。本日の日程の中で非公開とする案件はないため、全て公開としてよろしいか。		
		異議なしの声あり		
	教育長	8 月定例教育委員会の会議録の承認について諮った。		
		異議なしの声あり		
	教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。		
	教育長	報告事項 1 から 7 について、学校教育課長から説明を求めた。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2</p> <p>報告事項1</p> <p>平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>4月18日に、小学校6年生と中学校3年生を対象に国語、算数・数学それぞれ「知識」に関するA問題、「活用」に関するB問題の調査を行った。調査科目の区分による平均正答率では、小学校の国語Aにおいて全国平均正答率を上回ることができた。また、国語B、算数A、算数Bにおいて全国平均正答率との差を昨年度より縮めることができた。中学校においても、国語B、数学A、数学Bにおいて全国平均正答率との差を昨年度より縮めることができた。今年度の中学校3年生が小学校6年生だった平成26年度の調査結果を比較すると、国語B、数学Bにおいて全国平均正答率との差を縮めることができたことがわかった。学力が向上した都道府県や市町村を分析すると、A問題よりもB問題が伸びる傾向にあり、羽生市も学力が向上してきていると分析している。</p> <p>学習指導要領の領域等での区分による平均正答率では、小学校の国語Aにおいて、話すこと・聞くことが全国平均を下回り、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項は、全国平均を上回っている。国語Bでも話すこと・聞くことが全国平均を下回っているため、国語では、話すこと・聞くことが課題である。小学校の算数Aにおいては、量と測定が全国平均を下回り、図形では全国平均を上回っている。算数Bでは、量と測定が全国平均を上回っている。中学校の国語Aでは、話すこと・聞くことが全国平均を下回っており、国語Bでは、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項が全国平均を下回っているため、これらが課題であると考えている。中学校の数学Aでは、数と式が、数学Bでは関数が全国平均より下回っている。関数に関しては、毎年、苦手な傾向となっている。</p>
<p>報告事項2</p> <p>平成29年度埼玉県学力・学習状況調査結果の概要について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>4月13日に、小学校4年生から中学校1年生までを対象に、国語、算数・数学、中学校2年生と3年生を対象に、国語、数学、英語の調査を行った。埼玉県学力・学習状況調査は、その子どもの学力が、前年度と比べてどのくらい伸びたかを追いかけることができる特徴がある。教科区分による結果については、小学校4</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>年生の算数において、県の平均正答率と同じ結果となった。小学校の他の学年においても県の平均正答率と同程度から 2.2%下回る程度であった。一方、中学校においては、県の平均正答率を 2 年生の数学で 6.8%、3 年生の数学で 7.9%、3 年生の英語で 9.8% 下回っており、これらが課題と言える。今後は、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を受け、各学校が重点取組み計画書を作成し、課題の克服に取り組むこととしている。また、教育委員会事務局としても、学力向上に特化した学校訪問を行い、協力して子ども達の学力向上を図りたいと考えている。</p> <p>分類・区分別による結果については、小学校 4 年生の国語で、読むことが県平均正答率を 2.6%下回っている。算数では、量と測定、数量関係が県平均正答率を上回っている。小学校 5 年生の国語では、話すこと・聞くこと・書くことが県平均正答率を 2.9% 下回っている。算数では、数量関係が県平均正答率を上回っている。また、国語、算数の学力の伸びについて、県では 2 のところ、羽生市は 3 となっている。小学生 6 年生の国語では、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項が県平均正答率を上回っている。算数では、数と計算及び数量関係が県平均正答率を上回っている。また、国語の学力の伸びについて、県では 1 のところ、羽生市は 2 となっている。これらのことから、羽生市の小学生は、算数の数量関係が得意であるということがわかってきている。中学校 1 年生の結果概要だが、伸びは県と同じ伸びであった。</p> <p>中学校 1 年生の国語では、県平均正答率を話すこと・聞くこと・書くことで 4.1%、読むことで 4.2%下回っている。数学では、数量関係が県平均正答率を 2.6%下回っている。中学校 2 年生の国語では、どの区分も県平均正答率を約 3%下回っている。数学では、関数が 8.1%、英語では、書くことが 3.0%、それぞれ県平均正答率を下回っている。学力の伸びに関しても、県を下回っている。中学校 3 年生の国語では、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項が県平均正答率を 5.5%下回っている。数学では、数と式が 9.1%、英語では、書くことが 12.9%、それぞれ県平均正答率を下回っている。学力の伸びに関しては、国語は県と同じ、数学及び英語は県を下回っている。英語については、中学校 2 年生、3 年生とも書くことが課題であることがわかってきている。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項3 小・中学校における1学期の表彰の結果について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>特に上位となった表彰について報告する。埼玉県硬筆中央展覧会において、羽生北小学校の6年生が埼玉県知事賞、同じく6年生と4年生が推薦賞、新郷第二小学校の4年生が特選賞、岩瀬小学校の1年生が特選賞、川俣小学校の5年生が特選賞、手子林小学校の6年生が推薦賞、同じく5年生がさいたま市長賞、羽生南小学校の6年生2人が特選賞を受賞した。西中学校においては、関東中学校陸上競技大会で3年生が棒高跳びで第14位、中学校通信陸上競技埼玉県大会で3年生が棒高跳びで第3位、埼玉県夏季総合体育大会陸上競技で3年生が棒高跳びで第2位、3年生が走高跳びで第3位、北埼玉地区中学校夏季総合体育大会においてサッカー部が第1位、女子ソフトテニス部が第1位に入賞した。また、埼玉県硬筆中央展覧会で3年生が推薦賞を受賞した。南中学校では、北埼玉地区中学校夏季総合体育大会で剣道女子団体が第1位、男子バレーボールが第1位、女子ソフトテニス個人で3年生のペアが第1位、陸上競技女子200mで3年生が第1位、水泳男子100m平泳ぎで3年生が第1位、男子200m平泳ぎで3年生が第1位に入賞した。また、埼玉県硬筆中央展覧会で3年生が連盟賞、1年生が推薦賞を受賞した。東中学校では、関東中学校陸上競技大会で1年生が女子100mで第5位、学校総合体育大会埼玉県大会陸上競技の部で1年生が女子100mで第1位、北埼玉地区通信陸上競技大会で2年生が女子100mで第1位、2年生が女子砲丸投げで第1位、3年生が男子200mで第1位に入賞した。北埼玉地区中学校夏季総合体育大会において、男子ソフトテニス部が第1位、男子バドミントン個人シングルスで3年生が第1位、ダブルスで3年生と2年生のペアが第1位、男子軟式野球部が第1位、陸上競技の男子砲丸投げで2年生が第1位、女子砲丸投げで2年生が第1位、女子100mで1年生が第1位に入賞した。また、埼玉県硬質中央展覧会で2年生が特選賞を受賞した。</p>
<p>報告事項4 1学期における交通事故以外の事故・いじめ・不登校等について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>交通事故以外の事故については、学校管理下7件、管理外2件発生し、昨年度より7件少ない合計9件であった。そのうち5件が金曜日に発生しており、このことについて校長研究協議会で報告し、注意喚起を行った。不登校児童生徒数は計23名、いじめの認知件数は計10件であった。いじめや不登校については全国的な</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項5 平成29年度市内で発生した小中学生に関わる交通事故(8月末現在)について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>課題であるが、安心安全で信頼できる学校づくりを進め、件数を減らしたい。</p> <p>2件発生し、2件とも飛び出しであった。昨年度と比べると3件減少した。引き続き、各学校で交通安全指導を行うことについて、教育委員会としても協力していきたい。</p>
<p>報告事項6 平成29年度羽生地区青少年健全育成地域フォーラムの開催について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>11月1日に、産業文化ホール小ホールにて開催する。内容は、児童生徒実践発表会のほか、埼玉県教育委員会委員の志賀周子氏による講演を予定している。</p>
<p>報告事項7 平成29年度羽生市人権教育研究会の開催について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>11月21日に、羽生南小学校にて開催する。同和問題、学校における子どもの人権、その他の人権課題、PTAで取り組む人権課題の4つの分科会に分かれ、テーマに沿った研究協議を行う。</p>
<p>報告事項8 給食センター職員による学校訪問について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項8について、学校教育課参事兼学校給食センター所長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項9 生涯学習課長による学校訪問について</p>	<p>給食センター所長</p>	<p>期日は平成29年10月13日から平成30年1月26日までの約4カ月間に渡り、学校給食センター職員が市内小中学校全校を訪問する。内容は、学級における食育指導、配膳室における衛生管理指導、児童生徒との会食等を予定している。</p>
	<p>教育長</p>	<p>報告事項9から13について、生涯学習課長から説明を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項9 平成29年度第31回羽生市高齢者のつどい（いきいき運動会）の開催について</p>	生涯学習課長	<p>10月27日に、羽生市体育館アリーナにて開催する。各公民館で開催している「高齢者大学」の受講生等約300名、年齢65歳以上を参加対象とする。1チーム30名として中央公民館から2チーム、他の公民館は1チームずつの参加となる。ゲートインボール、スプーンレース、大玉送り、個人戦じゃんけん対決、フロアカーリング、玉入れの6種目を実施する。</p>
<p>報告事項10 第10回羽生市郷土芸能発表会の開催について</p>	生涯学習課長	<p>平成30年2月11日に、羽生市産業文化ホール小ホールにて開催する。出演団体を組織する羽生市郷土芸能発表会実行委員会と羽生市教育委員会で開催する。出演対象は、市内で郷土芸能を行う団体とする。前回は8団体が出演した。ポスター・チラシの配布、広報はにゅう1月号及び市ホームページへの掲載、マスコミへの情報提供等で周知を行う。公演の司会は、羽生第一高校の放送部に依頼する。</p>
<p>報告事項11 平成29年度羽生市人権教育研修会の結果について</p>	生涯学習課長	<p>8月4日に、産業文化ホール小ホールにて開催した。内容は、小中学生による人権作文の発表の他、鈴木中人氏に、いのちの授業～いのちを大切に作る心育む～というテーマで講演をいただいた。参加者数は、377名であった。人権作文の発表及び講演の内容等に関するアンケートを実施したが、結果は大変好評であった。</p>
<p>報告事項12 夏休み子どもクールシェアの結果について</p>	生涯学習課長	<p>8月7日から8月9日までの3日間、中央公民館において実施した。NPO法人羽生子育てサポートキャロット、中央公民館が主催し、中央公民館図書ボランティアをはじめ多くの団体の協力を得ることができた。参加者は小学生67名、内容は、「学習タイム」、「ランチタイム」、「リラックスタイム」という構成であった。今回は民生児童委員等にも協力を呼びかけ、恵まれない環境の子どもが参加しやすい体制を心がけた。アンケートを実施したところ、子ども、保護者とも満足度が高かった。2年目を迎え、協力団体がそれぞれの役割を認識して、自立的に動くことができ、クールシェア、学習支援、子どもの居場所の提供、食育という事業の目的に沿った開催ができたと思う。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項13 夏休みクールシェア inかわまたの結果に ついて</p>	生涯学習課長	<p>8月17日に、川俣公民館にて実施した。主催はNPO法人羽生市子育てサポートキャロットと川俣公民館である。参加者は、保護者4名、小学生23名、内容は、保護者対象の「食育講座」、小学生対象の「学習タイム」、全員対象の「ランチタイム」、「リラックスタイム」という構成であった。川俣公民館での開催は初めての試みであったが、中央公民館と同じく参加者の満足度は高く、アンケートの回答者ほぼ全員が来年の開催を望んでいた。</p>
<p>報告事項14 平成29年度トップア スリート育成事業羽 生市剣道教室の結果 について</p>	教育長	<p>報告事項14から16について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項15 平成29年度トップア スリート育成事業羽生市 少年野球教室(第2弾) の開催について</p>	スポーツ振興課長	<p>8月20日に、羽生市剣道連盟等の協力を得て、羽生市体育館にて開催した。指導者には埼玉県剣道連盟に所属する山中茂樹範士八段をはじめ、教士八段3名を招いた。参加人数は、スポーツ少年団剣道部会、市内中学校及び羽生第一高校の剣道部員、その他市内の各団体から指導者18名、児童生徒110名、合計128名であった。講師による形の演武、講話の後、指導者、中学生・高校生、小学生の3班に分かれての実技指導が行われた。受講者たちはトップレベルの演武や技術、熱意のある指導を肌で感じることができ、大変有意義な教室となった。</p>
<p>報告事項16 健康・体力づくり講 演会の開催について</p>	スポーツ振興課長	<p>6月3日に実施した第一弾に続き、第2弾を11月11日に、羽生中央公園野球場にて開催する。雨天の場合は羽生市体育館を会場とする。指導者は、これまでと同様、元巨人軍の黒江透修氏他、元プロ野球選手4名を予定しており、参加対象は、市内小学校4年生から6年生、中学生、指導者とする。</p> <p>少年野球教室開催日の11月11日午後に羽生市体育館にて開催する。元巨人軍、元横浜DeNAベイスターズ監督、その後野球解説者などで活躍している中畑清氏と、羽生市少年野球教室で校長を努めていただいている、元巨人軍の黒江透修氏を迎えて、野</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>球の上達法のみならず、アスリートに重要な事、指導する上で大切な事、さらには健康や体力づくりに役立つお話しをいただく予定である。スポーツ少年団等市内の団体をはじめたくさんの方に参加いただきたい。</p>
<p>報告事項17 「親子で楽しむ絵本とわらべうた講座及びボランティア養成講座」の開催について</p>	<p>教育長 図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>報告事項 17 から 21 について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p> <p>10 月 16 日に、羽生市立図書館にて開催する。前半は親子を対象とした絵本とわらべうた講座、参加対象は2～3歳の子どもと保護者 15 組、後半はボランティアへのアドバイス、参加対象はわらべうた・絵本に興味のある方 10 名を予定している。講師は地域文庫「にこにこ文庫」主宰の吉田優子氏にお願いしている。広報はにゅう及び市ホームページに掲載して周知する。</p>
<p>報告事項18 「聞かせ屋。けいたろう絵本の読み聞かせ会」の開催について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>11 月 19 日に、羽生市立図書館にて開催する。乳児の部、幼児の部、小学生から大人の部の 3 部構成とし、それぞれの世代に合わせた絵本の読み聞かせを行う。講師は、「聞かせ屋。けいたろう」こと坂口慶氏である。広報はにゅう及び市ホームページに掲載して周知する。</p>
<p>報告事項19 企画展「動物のからだとすみか」の結果について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>7 月 15 日から 8 月 28 日までの 39 日間に渡り、郷土資料館にて開催した。入館者数は 4,120 名、1 日平均 105 名であった。動物のはく製、骨格標本、昆虫標本等を県立自然の博物館やミュージアムパーク茨城県立自然博物館から借用し、展示した。夏休み中の開催であったため、たくさんの子ども達が来館した。ダンボール製のトンネルを設置し、洞窟で暮らす生き物の展示を行ったり、展示解説会やクイズ大会を実施したところ、大変好評であった。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項20 企画展関連事業 自然観察会「親子で昆虫を調べてみよう」の結果について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>報告事項19の企画展の関連事業として、8月6日に水郷公園にて開催した。講師には、県立自然の博物館の学芸員2名と外部研究員1名を招いた。参加者数は、市内在住の親子5組、計10名であった。参加者は、トンボやセミ、カブトムシ、アメンボなど、現地で見つけた昆虫についての解説を、熱心に聞いていた。</p>
<p>報告事項21 平成29年度 ふるさと講座Ⅱ「ふるさと歴史散歩～箕沢・東谷、藤井上組を訪ねる～」の開催について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>11月12日に開催する。今回は、古城天満宮、源長寺、大天白神社、正光寺を見学する予定である。講師は羽生市文化財保護審議委員の間仁田勝氏である。定員30名先着順としているが、ふるさと歴史散歩は例年定員を超える申し込みがあり、人気がある講座である。資料代等として1人300円の費用を徴収する。広報はにゆうに掲載し、10月14日から10月29日までの期間で参加者の募集を行う。</p>
	<p>教育長</p>	<p>報告事項に関して質問・意見を求めた。</p>
	<p>春山委員</p>	<p>市立図書館で開催される読み聞かせに関する2つの事業の違いはどのようなものか。</p>
	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>「親子で楽しむ絵本とわらべうた講座及びボランティア養成講座」は、市立図書館で行う「ちいさなおはなし会」に参加するボランティアを育成する目的がある。「聞かせ屋。けいたろう 絵本の読み聞かせ会」は、保護者の読み聞かせの技術の向上に資するという違いがある。</p>
	<p>柿沼委員</p>	<p>ふるさと講座Ⅱについては、地域の新しい魅力を発見するという大変素晴らしい事業であり、市内各地へ展開していくことを期待している。高齢者の参加も多いと思われ、怪我等の対応が心配だが、対策はどのようにしているか。</p>
	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>資料代等の費用として徴収している300円の中に、保険料が含まれている。</p>

会議事件名	て ん 末	
	春山委員	<p>全国及び埼玉県の学力・学習状況調査の結果について、中学校の数学、英語の国・県の平均正答率との差が、学年を上がるごとに開き、学力の伸びも県を下回っており、これを改善することが課題であると思う。小学校ではそれほどではなくても、中学校ではどんどん差がついてきている。このことは、高校受験や、子ども達の将来の夢など全てに関わる大きな問題であると感じる。生活困窮者自立支援法に基づいて、中学生の学習支援が始まっているが、地域と学校と家庭が一体になり、子ども達の健全育成に取り組んでいくうえで、教育委員会だけではなく、他の部署とも連携し、工夫する必要があると思う。</p>
	教育長	<p>小学校においては、学力アップ羽生塾の成果があり、やっとスタートラインに立てた感がある。対して中学校は、国や県との差がなかなか縮まらず、伸び率も低いことを、教育委員会事務局も重く受け止めている。</p>
	学校教育部長	<p>小学校においては、積み重ねがない分、短期的に成果が出やすい。これが定着しているかという点、まだそのような状況でないため、十分に成果が上がり、継続性が見られるようになれば、中学校でも少しずつ国や県に追い付いてくるのではないかと考えている。加えて、中学校の教職員の指導力の向上にも力を入れていきたい。</p>
	教育長	<p>中学校ではその教科のプロの先生が教えている。しかし、旧態依然とした指導方法を行っていたら、今の学習にはついていけない。そこにメスを入れて、授業のスピードを上げたり、方法を変える等、指導方法の工夫・改善を図っていきたい。</p>
	古市委員	<p>社会の動きが激しくなっており、計画や予算の見直しは1年に1回では世の中に遅れをとってしまうのかもしれない。私立の学校や学習塾などは、心理学や脳科学などを取り入れて学習を進めているところもあると聞いている。45分の授業で、最後まで集中し続けることはなかなか難しい。授業を受ける子ども達の視点に立ち、自らの授業を評価し、考え直すことも必要だと思う。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 平成30年度当初教職員人事異動の方針</p>	柿沼委員	<p>先日、小学校の学習ボランティアとしてテストの丸付けを手伝ったが、6年生にもなると、できる子とできない子との差が大きく開いていた。それを1人の先生が指導していくのは大変ではないか。中学校に上がる前に、その子の学力に合わせて丁寧に教えられる方法があれば良いと思った。</p>
	教育長	<p>今年度から羽生市学力アップテストが開始される。12月に行うテストの結果が1月に出るが、その結果を踏まえて、委託業者より、その子に合った問題が提供され、その問題を解いて振り返りができる仕組みである。このことにより教職員の負担も軽減されると考えている。</p>
	春山委員	<p>家庭の経済力が子どもの学力の格差に繋がってしまうことが大きな問題となっている。子どもが自分の家の経済状況を考えて、自ら夢を諦めることのないよう、家庭と学校を繋ぐような取組により、バックアップできれば良いと思う。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項1について学校教育課長から説明を求めた。</p>
	学校教育課長	<p>基本方針としては、埼玉県教育委員会の「平成30年度当初教職員人事異動の方針」及び「平成30年度当初市町村立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項」を踏まえながら他市町村教育委員会と密接な連携のもとに、円滑・適切な人事を行い、市内学校教育の充実発展を推進する。また、各学校の教職員組織の充実と均衡化に努めること、特色ある学校づくりを推進すること、適材を適時に適所に配置すること、再任用教職員の適切な配置に努めることを掲げている。その他、退職については、教職員年齢構成の不均衡を解消するため、勸奨退職制度を活用する。転任・転補に</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>については、教職員の意向を把握し、教職員の特性・能力、勤務実績、勤務経験、各学校の教職員構成等を考慮し、適材を適所に配置していく。任用については、計画的に行うとともに、新採用職員を任用し、学校の活性化を図ることとしている。</p> <p>教育長 協議事項1について質問・意見を求めた。</p> <p>なし</p> <p>教育長 協議事項1については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>教育長 協議事項1については、承認された旨宣した。</p> <p>教育長 次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。</p> <p>教育総務課長 10月定例教育委員会は、10月19日 午後1時30分より教育委員室にて開催する。</p> <p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>